Italian Living Innovation

取扱説明書

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

（伊）デロンギ社製　オイル密閉式ラジエター型ヒーター

型式番号

H771423E

単相200V専用	• この製品は単相交流 200V 専用です。 • ご使用になる前に、単相交流 200V のコンセント設置工事を行ってください。コンセントの有無などがご不明な場合は、電気工事店にご相談ください。

▶ 14枚フィン：サーマルカットフィン／2300W

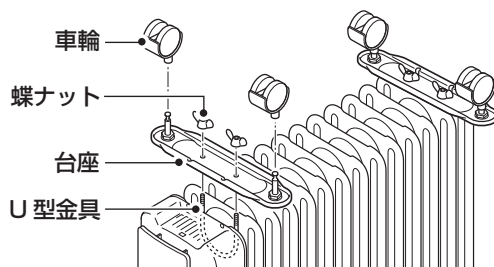
▶ 24時間電子タイマー付　▶ ～15畳

家庭用

Made in China

目次

キャスターの取り付け手順

①ヒーターの下部を上にして仰向けにします。
②**台座**×2を**U字金具**×２と**蝶ナット**×４で、**本体下部の両端**にしっかりと固定します。蝶ナットは左右交互に少しずつまわして、左右バランスよく取り付けてください。
③**車輪**×4 を台座に取り付けます。車輪は奥までしっかりと押し込んでください。
④ヒーターをゆっくりと起こします。（完了）

⚠警 告

キャスターを誤って本体の上部に取付け使用すると、火災や故障などの恐れがあり危険です。

※この図は、本体を仰向けにした状態です。本体は重いので、床を傷付けないようにご注意ください。

安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

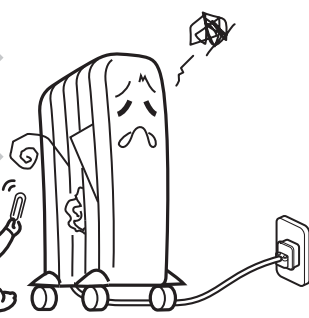
1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の３つに分け、明示しています。

危険	警告	注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

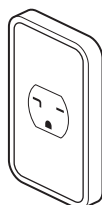
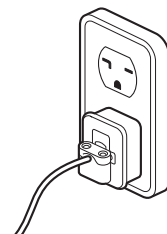
4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。
:禁止　:接触禁止　:水ぬれ禁止	:指示を守る
:分解禁止　:ぬれ手禁止　:風呂・シャワー室での使用禁止	:電源プラグを抜く
:覆い被せ禁止	

危険

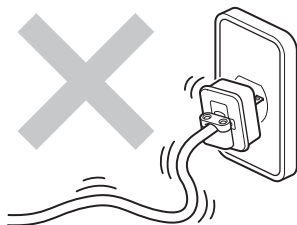
● 穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。

警告

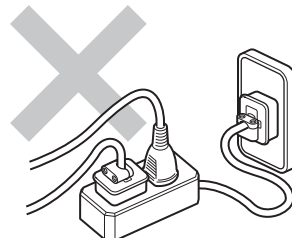
【電源／コンセントについて】

● 電源は単相交流 200V(50/60Hz)で「20A 250V」以上の壁面のコンセントに直接差し込む（3 相 200V の電源は絶対に使わない）
電圧や定格が異なると火災、感電の原因となります。

● コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が 2 つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

警告

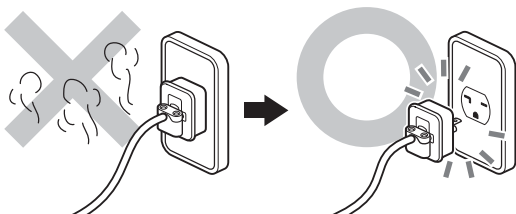
【電源／コンセントについて】

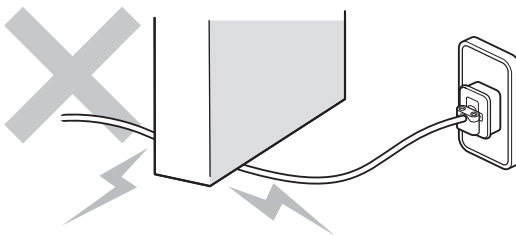
● **取付けの悪いコンセントは絶対に使わない**

取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

● **延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない**

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

【電源プラグ／電源コードについて】

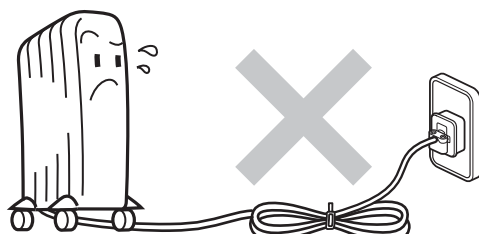
● **電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

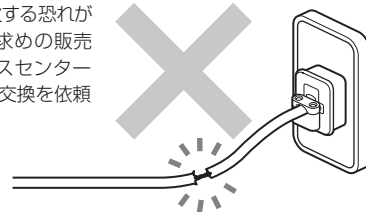
ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

● **電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない**

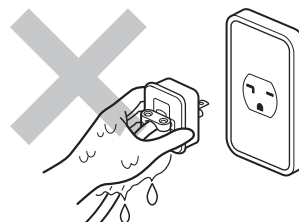
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

● **動作中に電源プラグを抜き差ししない**

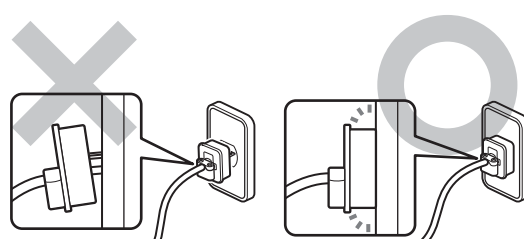
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電･火災の原因になります。

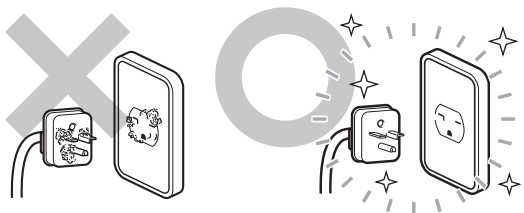
● **運転の際は、電源コードをコード･ホルダーから解き、余っても束ねない**

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

● **変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない**

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ参照）に、交換を依頼してください。

● **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電する恐れがあります。

● **電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**

不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

● **電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**

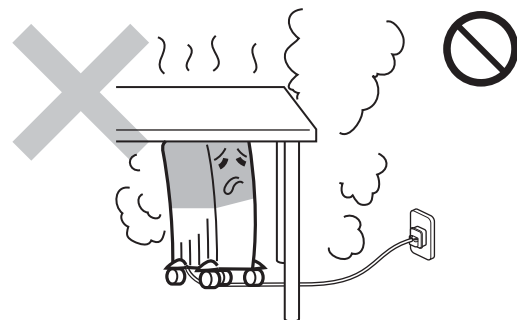
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

● **電源プラグの分解は専門技術者に依頼する**

電源プラグの分解が必要な場合は、専門技術者に依頼してください。一般の方が分解すると危険です。

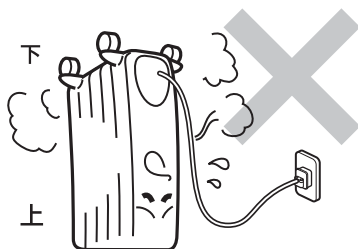
警告

【設置場所について】

● **テーブルや机の下で使わない**

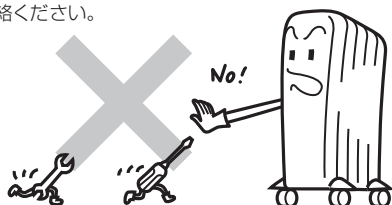
ヒーターの上部は、燃え易いものから約 1m 以上の距離を取ってください。
ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。

【使用中／使用後について】

● **逆さまや横倒し、立てかけて使わない**

火災や故障などの恐れがあり、危険です。

● **スプレー缶などを本体の近くに置かない**

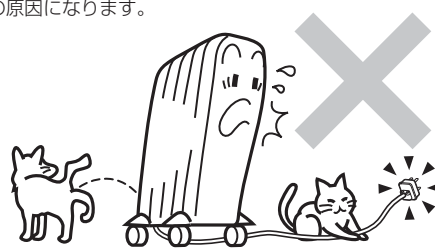
スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。

● **本製品を分解したり、改造をしない**

故障や発火の恐れがあります。ヒーター内部には難燃性のオイルが充てんされています。修理が必要な場合は、必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）までご連絡ください。

● **お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない**

ヤケド・感電・ケガの原因になります。

● **猫や犬など、ペットの暖房に使わない**

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。

● **カーテンなど燃え易いものの近くで使用しない**

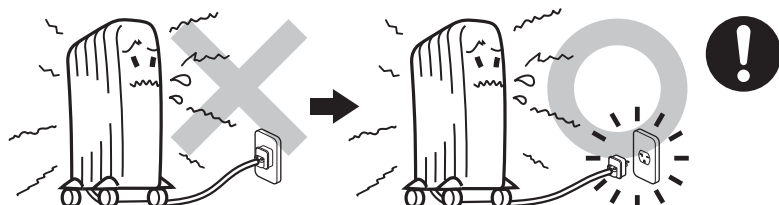
カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。

● **本体をふとんなどで覆わない**

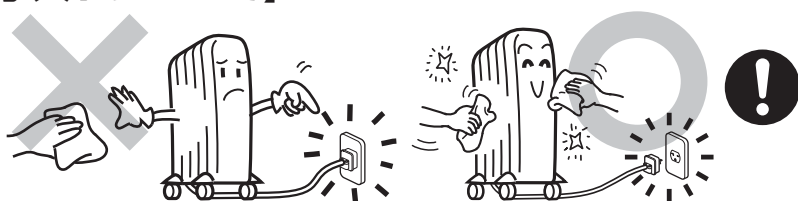
本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。

【運転中について】

● **異常が生じた場合は、使用を中止する**

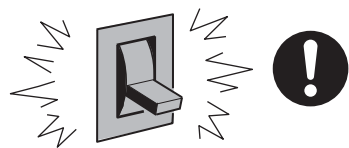
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）までご連絡ください。

【お手入れについて】

● **本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う**

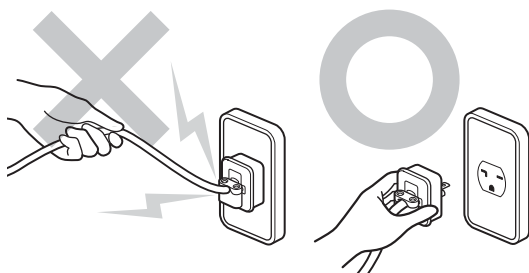
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

⚠注 意

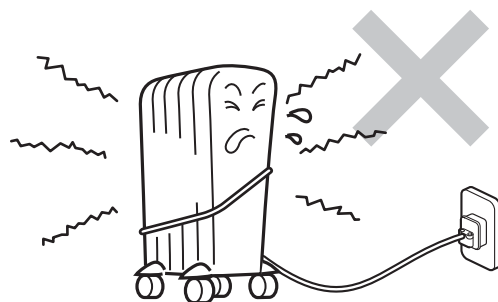
【電源について】

● **ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する**

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。
詳しくは、6 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

【電源プラグ／電源コードについて】

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く**

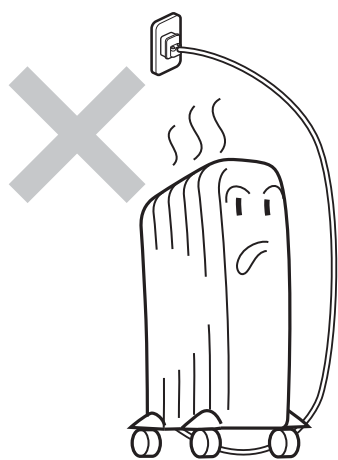
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

● **運転中は、電源コードを本体に触れさせない**

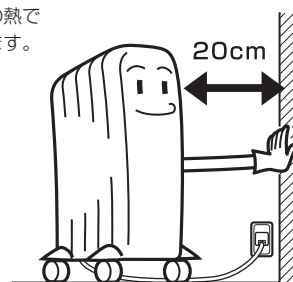
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

【設置場所について】

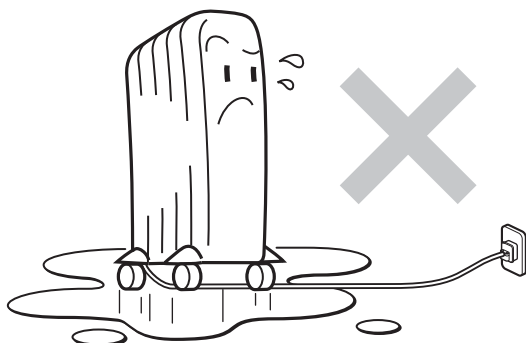
● **電源をとるコンセントのすぐ下で使わない**

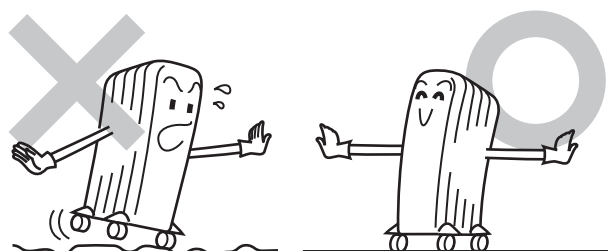
暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。

● **屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない**

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。

● **壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20cm 以上離す**

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。

● **人や家具などからは、1m以上離す**

オイルラジエターヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約 1 m以上の距離を取ってください。

● **毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く**

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。

注 意

【使用中／使用後について】

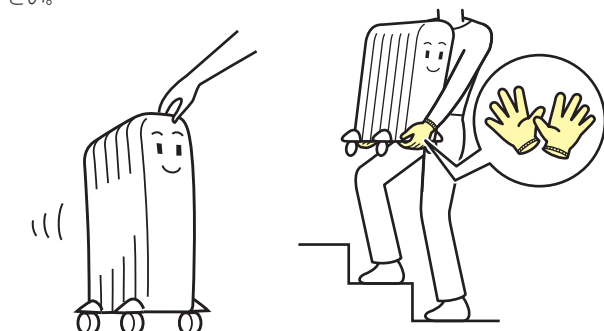
● **ご使用の際は、必ずキャスターを取り付ける**

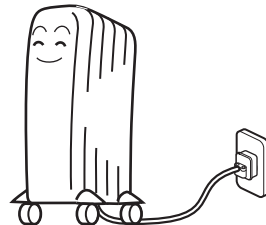
必ず付属のキャスター（車輪４個）を本体下部の両端にしっかりと取り付けてください（表紙参照）。ケガや事故の恐れがあります。

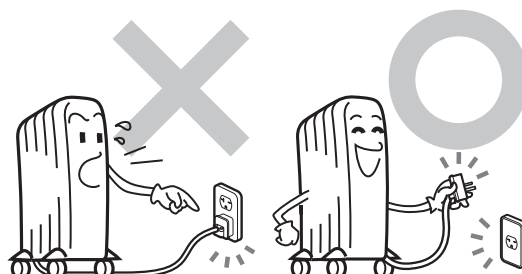
● **本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する**

感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）までご連絡ください。

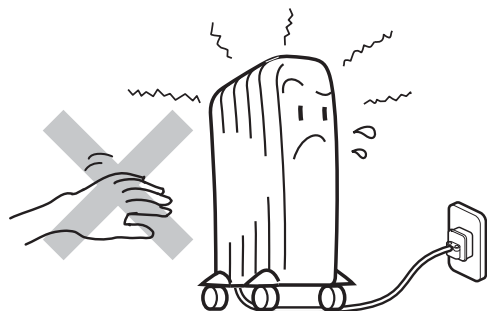
● **ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う**

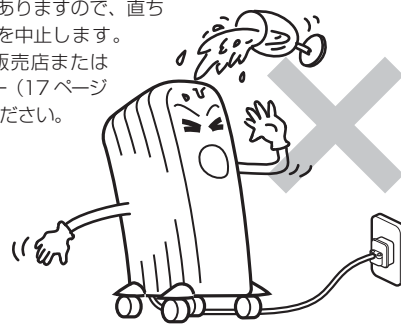
本体を持ち上げず、取っ手を持ちゆっくりと引いてください。床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスター（車輪４個）を床面につけて、移動してください。階段や段差での移動は、手ぶくろなどをし、本体底部を持って行ってください。

● **小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う**

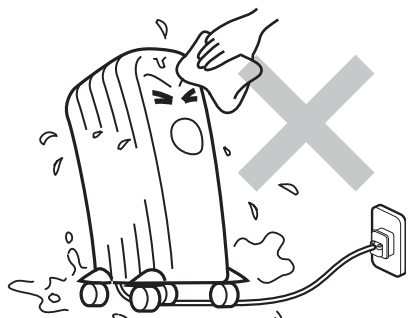
運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部やキャスターなどに触れさせないようにご注意ください。

● **長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**

誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。（15 ページ参照）

【運転中について】

● **運転中および停止直後は、ラジエター／フィン（放熱板）に触れない**

表面は高温になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

● **本体や操作部に水やジュースをこぼさない**

本体や操作部（電力切替えスイッチ、タイマー、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）までご連絡ください。

【お手入れについて】

● **絶対に水に浸したり、水洗いをしない**

● **洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない**

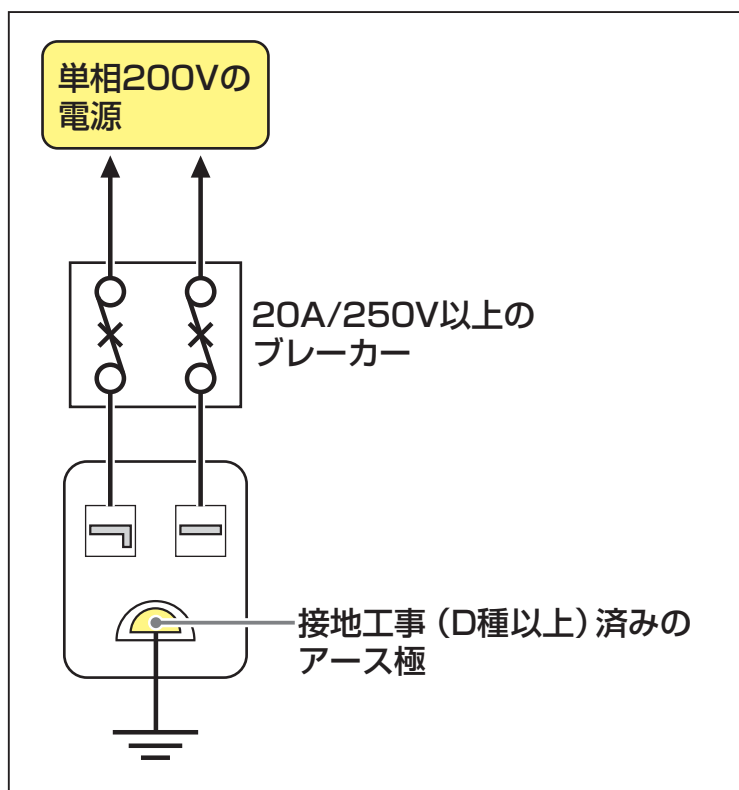
電源工事について

ご使用になる前に、単相交流 200V のコンセント設置工事を行ってください。工事は、電気工事店などの専門技術者に依頼し、絶対にご自身では行わないでください。

アース極付きの電源プラグを使用しているため、アース極付きのコンセントを設置する必要があります。

●**電　　源**：単相 200V（対地電圧 150V 以下）で 20A 以上の**専用配線**をしてください。

●**コンセント**：D 種以上の接地工事を施した 3 極 20A/250V（1 極は接地用）のものを使用してください。

法令により、接地工事は「電気工事士」資格の保持者が D 種接地工事を行うよう定められています。

知っておいていただきたいこと

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。**
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

本製品のブレーカーにかかる電流値は電力会社との契約条件により異なります。詳しくは電力会社にお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル(★)を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、サーマルカットフィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。**★オイルの補充・交換は不要です。**

取っ手
ヒーターを移動する際はここに指をかけ、持ち上げずにゆっくりと引いてください。

サーモスタット（ダイヤル）
室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ダイヤルを右に回す（目盛りの数字が大きくなる）ほど温度が高くなります。

ラジエター／フィン

電力切替えスイッチ
電源スイッチを兼ねたスイッチで、2つのスイッチを使って、電力レベルをMIN（弱:900W）・MED（中:1400W）・MAX（強:2300W）の3段階に切り替えることができます。

電源
- 入▶どちらかのスイッチ上部を押し込む
- 切▶スイッチ下部を両方とも押し込む

パイロットランプ（スイッチ内）
電力切替えスイッチを押して電源を入れると点灯します。点灯時は電源が入っている(ON)状態を表します。サーモスタットや電子タイマーの設定により消点灯を繰り返します。

電源プラグ

⚠ 警告
電源プラグの分解が必要な場合は、専門技術者に依頼してください。一般の方が分解すると危険です。

コード・ホルダー
ヒーターを使わない時／移動する時などに、電源コードを巻いておきます。（コードの径と長さの関係上、コードホルダーにすべて巻き付けることはできません。）

24時間電子タイマー
24時間プログラム式で、暖房の開始（ON）と停止（OFF）を自動的に行なう電子タイマーです。
※電源プラグをコンセントに差し込むと、わずかに時計音がします。

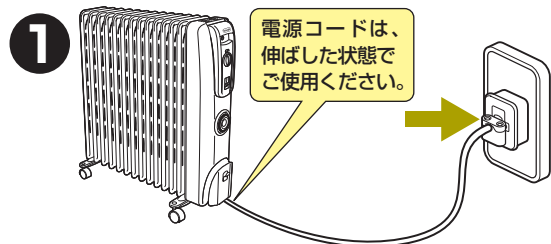
電源コード

キャスター（組み立て式）
「キャスターの取り付け手順」（表紙）を参照して、取り付けてください。

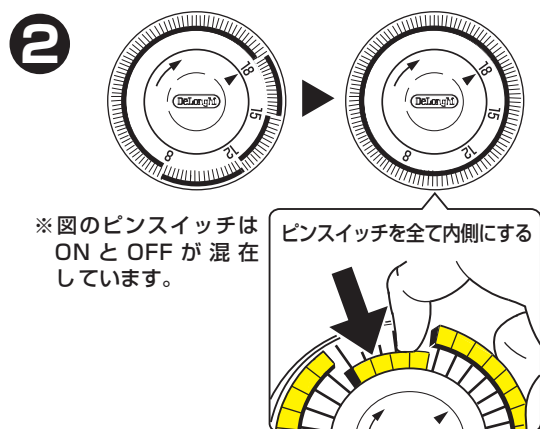
ヒーターを移動する際のご注意
床材の質･種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。また、階段や段差での移動は手ぶくろなどをし、ヒーターが十分に冷えてから、本体底部を持って行ってください。

付属品：デロンギ･エコカバー、台座×2、車輪×4、U型金具×2、蝶ナット×4

操作手順(1)手動運転

暖房の開始／停止を手動（＝電力切替えスイッチの入／切）で行なう方法です。

❶ 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを**壁面コンセント**に直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、コード･ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

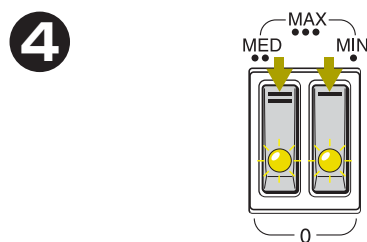
延長コードは絶対に使用しないでください。

❷ 電子タイマーのピンスイッチを全て ON にする

暖房の開始／停止を電力切替えスイッチの入／切で行なう＝手動運転では、全ての**ピンスイッチ**（96 個＝ 24 時間分）をタイマーの中心（**内側＝ ON の位置**）に向けて押し込みます。

※図のピンスイッチは ON と OFF が混在しています。

▶止るまで、右（時計回り）に回してください。

❸ サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にセットします。

❹ 暖房運転を開始する（電源を入れる）

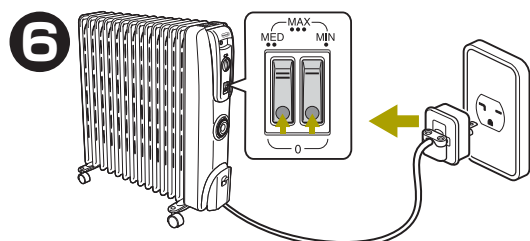
電力切替えスイッチ上部を押し込みます。電源が入ると**パイロットランプ**が点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを両方とも押し（※）、電力レベルを強（MAX）にしてください。

※ MIN（弱： 900W）＋ MED（中： 1400W）＝ MAX（強： 2300W）

> **ヒント** 電力切替えスイッチを MAX（強:2300W）ではなく、MED（中:1400W）または MIN（弱:900W）に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

▶適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。

❺ サーモスタットを設定する

お望みの温度（＝**適温**）になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

❻ 暖房運転を停止する（電源を切る）

電力切替えスイッチの下部を両方とも押して電源を切り（→パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。

高温注意：ラジエターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

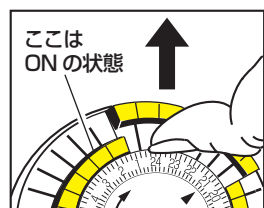
電子タイマーのしくみと使い方

ON/OFF 型電子タイマー

暖房の開始（ON）および停止（OFF）の時刻を、15分刻みで設定できます。

24 時間プログラム式

一度設定すれば、毎日同じ時刻に一定の時間だけ暖房することができます。

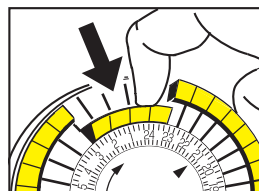
〈電子タイマー：各部の名称とはたらき〉

OFF（暖房停止）状態
ピンスイッチを
外側に引き上げる

セットポイント
▲印に、現在時刻を合わせます。

ピンスイッチ（全 96 個＝ 24 時間分）
内側に押し込んだ状態で ON（暖房する）、外側に引き上げた状態が OFF（暖房停止）。**ピン 1 個＝15 分。**

ダイヤル（ピンスイッチ、時刻目盛）
24 時間の時刻目盛（**1 目盛＝15 分**）が記されています。なお、ダイヤルは右（時計回り）にしか回りませんので、ご注意ください。

※図のタイマーは、「現在の時刻は夜の 9 時（21 時）、朝 6 時から夜の 11 時（23 時）まで連続暖房する」場合を示しています。

ピンスイッチを中心（内側）に向けて押し込む

ON（暖房する）状態

ご注意：ピンスイッチを誤ってパネル方向に押すと、タイマーが脱落する場合があります。

暖房の開始／停止時刻のセット例

＜例＞**現在の時刻（夕方 6 時）から朝 8 時までと、昼 12 時から午後 3 時までの 2 回暖房をする**

①電源プラグを壁面コンセントに差し込みます。

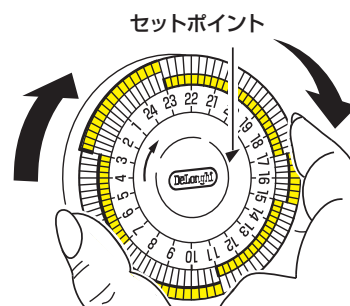
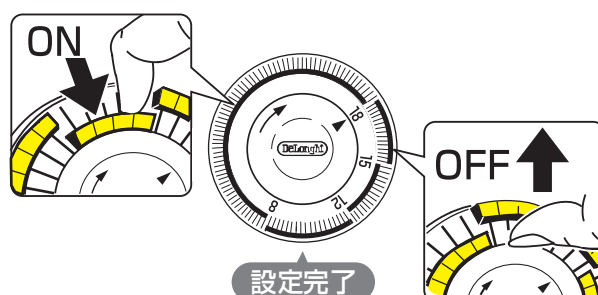
②タイマーのダイヤルを右（時計回り）に回し、現在の時刻（夕方 6 時）＝時刻目盛の「18」をセットポイントに合わせます。(図A)

③時刻目盛「18 ～ 8」「12 ～ 15」にあたるピンスイッチを内側(ON 位置)に、それ以外の全てのピンスイッチを外側（OFF 位置）に設定します。(図B)

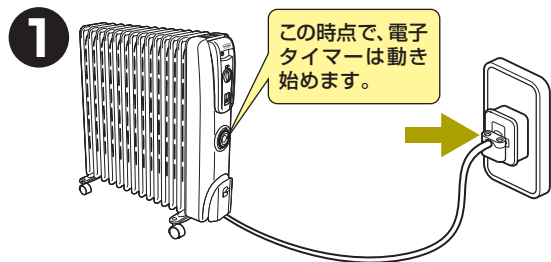
④電力切替えスイッチ上部を押し込み、電源を入れます。②で合わせた時刻（現在時刻）が③で設定した暖房（ON）時間内にあるので、すぐに暖房運転が始まります。

後は、以上の設定（状態）を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房が行なわれます。

図A

セットポイント

図B

▶タイマー運転について詳しくは次頁を参照してください。

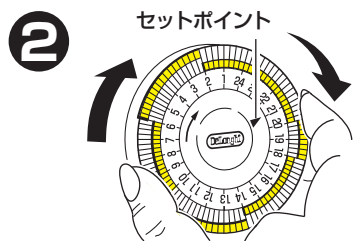
操作手順（II）タイマー運転

暖房の開始（ON）／停止（OFF）を電子タイマー（左ページ参照）で行なう方法です。

❶

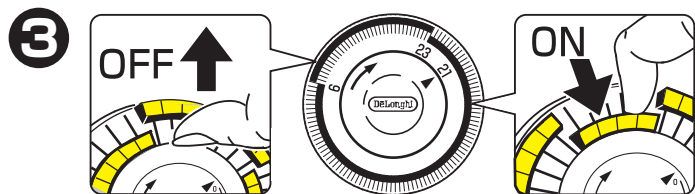
電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを**壁面コンセント**に直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、コード･ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

延長コードは絶対に使用しないでください。

❷

現在時刻を合わせる

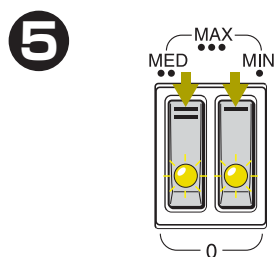
タイマーのダイヤルを右（時計回り）に回し、**現在の時刻**（=ダイヤルの**時刻目盛**）を**セットポイント**（▲印）に合わせます。

❸

ピンスイッチで暖房時間の設定をする

暖房する時刻／時間帯の**ピンスイッチ**はタイマーの内側に押し込み（= **ON 状態**）、それ以外のピンスイッチは外側に引き上げます（= **OFF 状態**）。

▶止るまで、右（時計回り）に回してください。

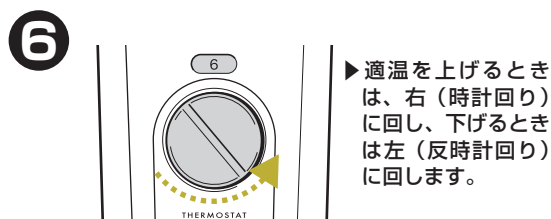
サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にセットします。

★電源を入れておかないと、設定した時刻になっても暖房が始まりません。

電源を入れる★（暖房運転をする）

電力切替えスイッチ上部を押し込みます。電源が入ると**パイロットランプ**が点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを両方とも押し（※）、電力レベルを強（MAX）にしてください。

※ MIN（弱： 900W）＋ MED（中： 1400W）＝ MAX（強： 2300W）

外出中はドアの開閉頻度が減るため、電力切替えスイッチを MAX（強：2300W）にする必要はありません。MED（中：1400W）または MIN（弱：900W）に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。お部屋の諸条件に応じて使い分けてください。

❻

▶適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。

サーモスタットを設定する

お望みの温度（=**適温**）になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

後は、以上の設定（状態）を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房運転が行なわれます。

※ただし、お手入れ（15 ページ参照）などで電源プラグをコンセントから抜いた場合は、再び現在時刻の設定が必要です。

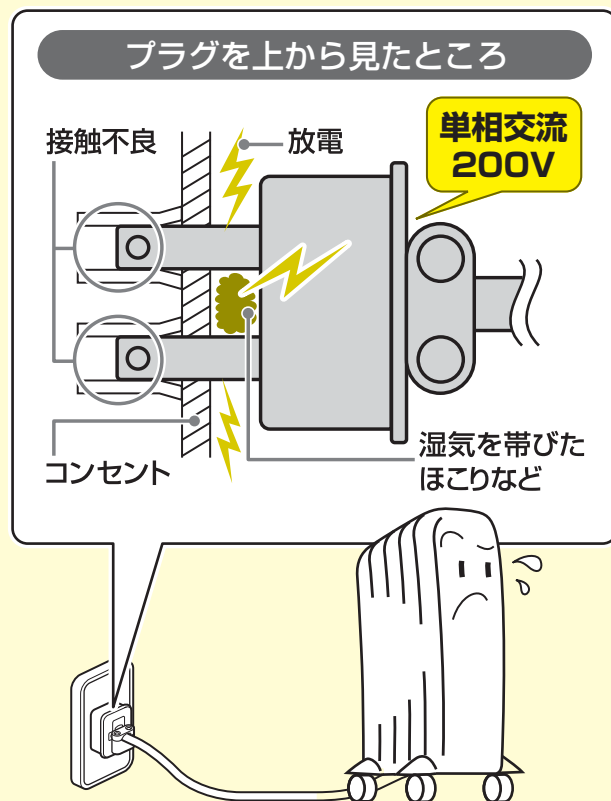
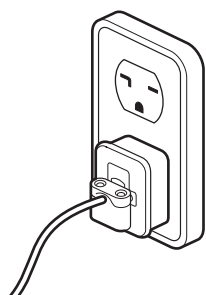
電源プラグ・コードの安全チェックページ

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

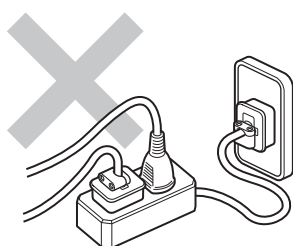
トラッキング現象とは ...

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分（絶縁材）が徐々に炭化し、電気の筋道（導電路：トラック）が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート（短絡）して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

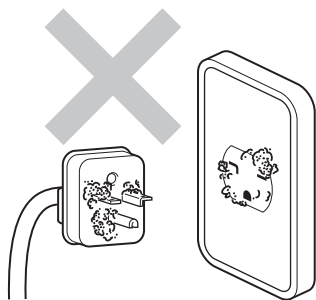
電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態（接触不良）で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象（空中放電）が発生し、発火の原因となります。

☑ 壁面コンセントを単独で使っていますか？

壁面コンセントは、定格容量20A以上のものをお使いください。また、他の器具と併用すると容量オーバーになり異常発熱し、発火の原因になります。

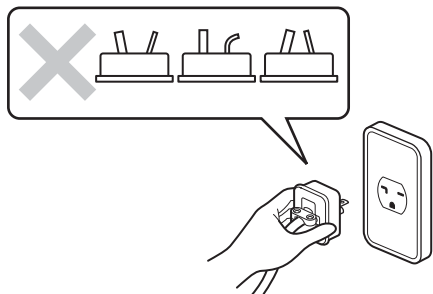
2口コンセントは片方を空けて、単独でご使用ください。

☑ 延長コード、テーブルタップを使っていませんか？

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常に発熱し、発火の原因になります。

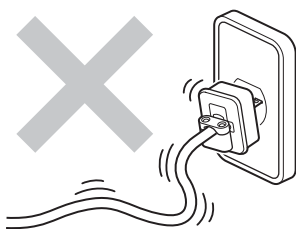
延長コード、テーブルタップの使用は避け、電源は壁面コンセントから直接お取りください。

☑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？

電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

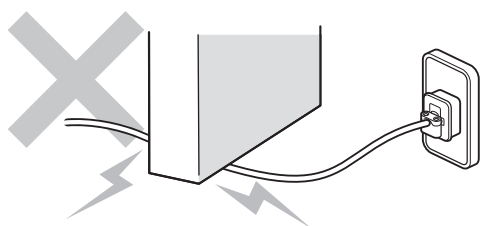
定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

☑ 電源プラグが変形していませんか？

曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

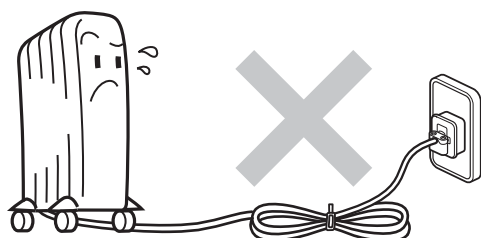
ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ参照）にプラグの交換をご依頼ください。

☑ コンセントにガタツキはありませんか？

刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？

家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

☑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは、伸ばしたままお使いください。

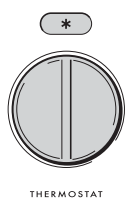
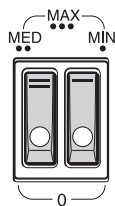
故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチ下部を両方とも押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 17 ページ「アフターサービス」を参照してください。

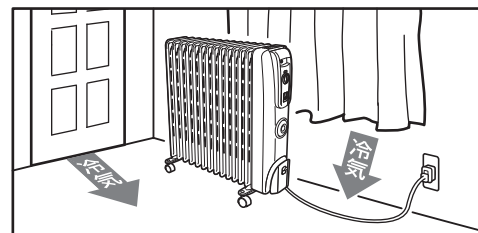
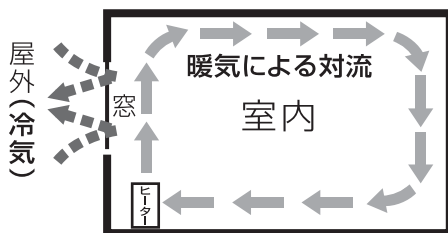
症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを上部を押してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かくならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。
		サーモスタットのダイヤルを今よりに右に回します。
	その時刻に、タイマーのピンスイッチが外側（＝ OFF の位置）にある	タイマーのセットポイント（▲印）にあるピンスイッチを内側（＝ ON の位置）に押し込みます。
電力切替えスイッチ上部を押すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回してみます。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 20A の壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口（刃受）が 2 つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が 2 つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形·破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードをコード·ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
ヒーターは暖まるのに、タイマーが動かない	タイマーが故障した可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（17 ページ参照）にご連絡ください。

症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
タイマーが正しく動作しない＝タイマーの外輪（ピンスイッチや時刻目盛のある部分）が回転せず、時計音もない	電源プラグをコンセントに差し込んでいない	電源プラグをコンセントから抜くと、タイマーが止ります。電源プラグを一度抜いた後にタイマーを使用する（＝タイマー運転をする）場合は、再度、現在時刻をセットポイント（▲印）に合わせてください。
タイマーが途中で止っている	電源プラグをコンセントから抜いた。または、タイマーが故障の可能性あり	タイマーが正常であれば、電源プラグをコンセントから抜いた時点で止り、コンセントに差し込むと作動します。しっかりと電源プラグを差し込み、30 分経ってもタイマーがひと目盛も動かない場合は故障です。
タイマーに設定した暖房の開始(ON)時刻になっても、暖房が始まらない	電力切替えスイッチの電源が入っていない	電力切替えスイッチ上部を押し、電源を入れてください。
	ピンスイッチが外側（＝OFF の位置）にある	暖房したい時間分のピンスイッチ（1 個＝15 分）を、内側（＝ ON の位置）に押し込んでください。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットの出力レベルが部屋の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が止ります。出力レベルを上げるには、ダイヤルを右（時計回り）に回してください。
タイマーに設定した暖房の開始／停止時刻と、実際の時刻に誤差がある	実際の時刻が、0 分／15 分／30 分／45 分以外のときに、現在時刻を合わせた	タイマーの動作およびピンスイッチや時刻目盛は 15 分刻みなので、実際の時刻が○時／○時 15 分／○時 30 分／○時 45 分のときに、現在時刻をセットポイントに合わせてください。本タイマーの時間誤差は、1 ヶ月で±約 30 秒です。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	電力切替えスイッチを 1 つしか押していない	電力切替えスイッチを両方とも押して MAX にし、電力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離した場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい 30 分前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておくと便利です。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。 電力切替えスイッチ下部を両方押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、弊社サービスセンター（17 ページ参照）にご連絡ください。

ヒーターの上手な使い方

節電対策

サーモスタット（出力レベル調節）　電力切替えスイッチ（電力レベル調節）

サーモスタットと電力切替えスイッチの両方を上手に活用することで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」および「電力レベル」を下げるようにしてください。

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所

室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

ヒント　電力切替えスイッチをMAX（強:2300W）ではなく、MED（中:1400W）またはMIN（弱:900W）に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

お手入れ／保管のしかた

⚠警　告

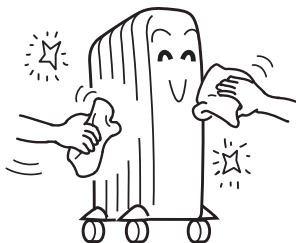
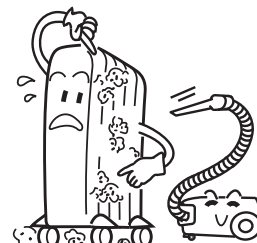
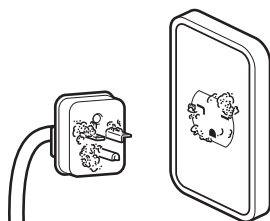
お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

⚠注　意

水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。

※箱に収納しない場合は、必ずキャスターを取り付けた状態で保管してください。

- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

- 本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

- 収納／保管する際は、付属のデロンギ･エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

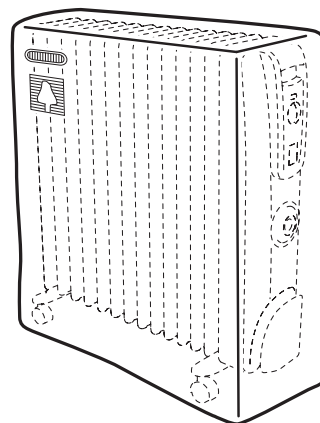
電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

パネル内の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットや電子タイマーのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットや電子タイマーが、自動的に電源を ON ／ OFF する際のもので、故障ではありません。

デロンギ・エコカバーの使い方

1〉**ホコリよけのカバーとして**：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2〉**ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として**：ご不用になったオイルヒーターを廃棄するときは、各自治体の規則に従ってください。デロンギヒーターに使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属は含まれておりませんが、自治体によってはご不用になったオイルヒーターの回収を行っていない場合があります。

※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿 100％で出来ています。

その際は、下記の要領に従い、**弊社サービスセンター（17 ページ参照）**までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（17 ページ参照）にてご確認ください。

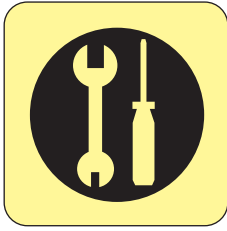
送料について▶再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

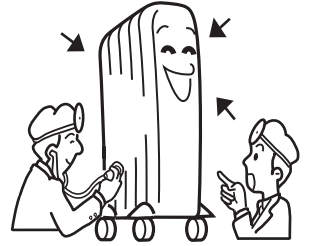
梱包について▶**ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。**なお、デロンギ･エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、**必ず「再資源化」と明記してください。**

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

真心点検について

長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

アフターサービス

1〉使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、13～14ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- **使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる**
- **操作パネルや放熱板に、水やジュース（液体）などをこぼした**
- **電源コード、電源プラグが変形／破損している**
- **本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた**
- **取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない**

2〉万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①**お求めの時期** ②**製品名称と型式番号** ③**故障の状況**──を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

3〉保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4〉補修用性能部品の保有期間について

弊社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター （受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

コールセンター

修理について Tel.0120-804-280 / Tel.0120-692-885

お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Tel.0120-692-880

／Fax.045-450-3291

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9　安田倉庫（株）内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）──── **http://support.delonghi.co.jp**

MEMO

〈お客様メモ〉

購入年月日：　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日

購入販売店名：

住所：

Tel：

仕様

製品名称		デロンギヒーター　サーマルカットフィン　24時間電子タイマー付		
型式番号		H771423E	適用畳数	6～15畳
定格	電圧／周波数	単相交流200V／50/60Hz		
	消費電力	900・1400・2300W		
外形寸法／質量（※）		長さ64.5×幅24.0×高さ63.5cm／20.0kg　※外形寸法および質量の各数値はキャスターを取り付けた状態のものです。		
タイマー		24時間ON/OFF型電子タイマー		
安全装置		転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置		
付属品		デロンギ・エコカバー、台座×2、車輪×4、U字金具×2、蝶ナット×4		